

## 黒田家住宅 アプローチ改修（大和郡山市）



瓦タイルの四盤敷



四ツ目垣による関守竹



屋根の葺き替え



白玉石と平瓦積、延段の再現

黒田家住宅のアプローチは、門屋から主屋玄関まで約17mある。改修前は、切石と自然石が使われた延段であったが、車椅子の利用を考慮して、幅を広くし、段差を無くしたいという黒田氏の要望があり、300角の瓦タイルによる四盤敷を採用した。周辺には白玉石を敷き詰め、部分的に以前の敷石を活用した延段を再現し、四ツ目垣を関守竹として置いている。以前あった玄関ポーチの段を無くし、スロープによるバリアフリーのアプローチとした。

建築場所	大和郡山市九条平野町1-50
構造	瓦タイル四盤敷アプローチ土間
用途	玄関アプローチ
規模	延長約17m
改修年	1998年12月
工事費	改修工事費約 1,000,000 円